

# リリアムワン<sup>®</sup> クイックマニュアル

**1** 測定姿勢は基本的に仰臥位・安静で実施してください



**2** プローブ部に超音波検査用ジェルを塗ります



\*ジェルの量が少なすぎると空気が入り込み適切に測定できません

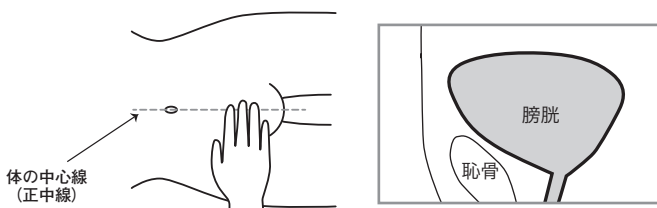
**3** ボタンを押して、本体の電源を入れます



\*この状態で60秒間何も操作せずに放置した場合は、自動的に電源が切れます

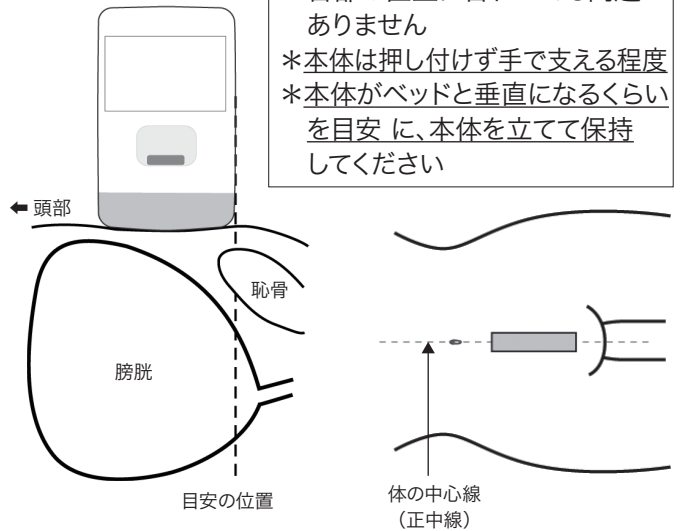
ボタン

**4** 手で恥骨結合部の位置を確認します



恥骨結合部の位置  
体の中心線を辿り、堅いものを感じる

**5** 正中線上かつ恥骨結合部の直上に少し被るように(1cm程度を目安に)、本体のプローブ部をあてます



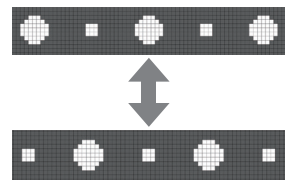
\*本体の左右は、どちらを恥骨結合部の直上に合わせても問題ありません  
\*本体は押し付けず手で支える程度  
\*本体がベッドと垂直になるくらいを目安に、本体を立てて保持してください

**6** 再度ボタンを押し、測定を開始します



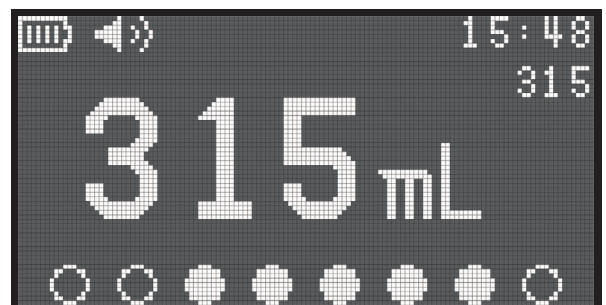
\*ボタンを押し続ける必要はありません

▶測定中は、画面中央で下記画像が交互に繰り返し表示されます

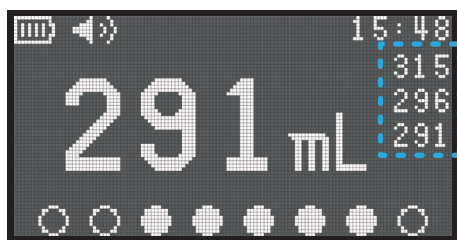


**7** 5秒ほど経過すると、自動的に測定が完了します

▶本体を腹部から離し、再度測定します(推奨測定回数:3回)



**8** 測定結果の最大値を膀胱内尿量と判断してください  
(測定履歴をタッチして、最大値表示に切り替えることが可能です)



測定履歴  
(上段) 2回前の測定結果 : 315mL  
(中段) 1回前の測定結果 : 296mL  
(下段) 最新結果 : 291mL

⇒膀胱内尿量(排尿後であれば残尿量) **315mL**  
測定精度 : ±(15%+20mL)

\*4回以上続けて測定された場合、表示は直近3回の測定履歴に更新されます  
\*実際の画面には点線は表示されません

**9** 測定終了後、3秒ほどボタンを押し続ける、あるいは60秒間何も操作せず放置すると電源が切れます

**参考** 測定結果の最大値を表示させる方法



▶複数回続けて測定終了した直後に、「測定履歴」(左図点線部分)をタッチします

\*実際の画面には点線は表示されません

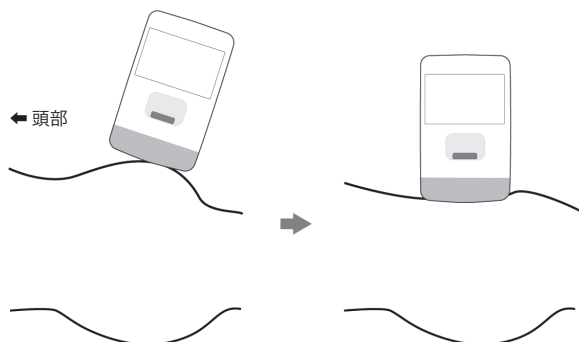


▶一番大きな測定結果が表示されます  
その際、「mL」の上部に「MAX」と表示されます

(測定例:3回続けて測定した場合)

**注意** プローブ部のあて方にご注意ください

\*下腹部が大きく膨らんでいる方は、プローブ部の頭部側をゆっくり押す必要があります



\*痩せている方は、そのままプローブ部をあててください  
(ただし、プローブ部と体表の間に空気が入らないようご注意ください)

**参考** インジケータの表示  
(表示例:右側が恥骨の場合)

①インジケータの端が全て消灯している場合

- 1回目 ▶膀胱全体を超音波がとらえられています
- 2回目 ▶プローブ部をあてる位置は、問題はありません
- 3回目 ▶

②少なくとも1回はインジケータの端が消灯している場合

- 1回目 ▶1回は膀胱全体を超音波がとらえられています
- 2回目 ▶プローブ部をあてる位置は、許容範囲内です
- 3回目 ▶

③3回ともにインジケータの端が点灯している場合

- 1回目 ▶膀胱全体を超音波がとらえられていない可能性があります
- 2回目 ▶再測定してください。
- 3回目 ※もう少しプローブ部の端を恥骨に被せてください

④全てのインジケータが消灯している場合

- 1回目 ▶膀胱内に尿が少なかった場合、インジケータは1つも点灯しないことがあります
- 2回目 ▶
- 3回目 ▶

※正中線上かつ恥骨結合部の直上に少し被るように(1cm程度を目安に)本体のプローブ部をあてていない場合、インジケータが1つも点灯しないことがあります

使用に際しては、以下URLの動画サイトをご参照ください。

**「リアムワン」測定手順動画**

<https://opf-seminar.extide.mediasite.co.jp/Mediasite/Play/00d3e0d15d994981ad7c0d1c92e09ddc1d>



許可なく本資料を転載、引用、複製、改変、第三者へ提供することを禁じます